

科学研究費補助金（若手研究（S））研究進捗評価

課題番号	19670001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	認知操作を中心としたヒトの高次思考を司る神経機構の解明	研究代表者 (所属・職)	坂井 克之（東京大学・大学院医学系研究科・准教授）

【平成22年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究の目的は、1) 認知操作の脳内表象の階層性、2) 脳局所情報表現と脳領域間相互作用の因果関係、3) 認知操作に対する主観的意思の成立メカニズムを明らかにすることである。研究代表者は、ヒトの大脳皮質機能イメージング(fMRI)の研究によって、1) および3) の目的に対する成果を挙げ、論文発表している。一方、特筆すべきは、新しい研究手法(TMS-EEG法)を導入することによって、異なる脳領域に表現される情報の因果関係の客観的推定に成功し、極めて独創性とインパクトの高い成果を得て論文発表していることである。研究が着実に進展しており、期待どおりの成果を挙げていると評価できる。今後の更なる発展に期待する。</p>	